

プロフェッショナルと行くみえ旅！ 育児男子の子育て日記プロジェクト事業

863万円

「忙しくて普段は育児に関わっていない」父親の育児参画のきっかけとして、**各界のプロフェッショナルの協力のもと、「子どもとこんなことがしたい！」という父親の夢が詰まった「父子体験バスツアー」**を開催します。我が子と一緒に「夢の体験」を過ごすことを通じて、子どもとの向き合い方を見つめなおし、自身の**育児参画スイッチを入れる**ことにつながります。

プロフェッショナルの達人が
父子の夢の体験を応援！

「父子体験」の楽しさや魅力などを
親子で「絵日記」を作成して情報発信！

父ちゃん、
頑張った
なあ～
すごかった
よかったです！



こんなことも
できるよう
になったん
やなあ～
いっぱい
話もできて
楽しかった！

「父子旅」経験者は育児に積極的！
自身の子ともと父子旅をした経験のある父親は、
未経験の父親と比べて、
「1週間の育児に費やす時間」が3割多くなる
※(株)リクルートライフスタイル調べ

「父子のお出かけ」から
育児男子増殖へ

育児男子スイッチオン！

期待される効果

これまで育児への関わりが薄かった父親が、「父子のお出かけ」をきっかけに子どもと積極的に関わるようになり、**育児男子の裾野を広げます。**

取組内容

- 「子どもと一緒にこんなことやってみたい！」という**父親の夢や憧れを募集**します。
- 夢や憧れが詰まった「父子体験バスツアー」を実施します。体験は**プロフェッショナル（スポーツ、文化・芸術活動、科学実験など）が指導**します。体験内容は、父子で「絵日記」としてまとめ、「父子のお出かけ」の楽しさや魅力を発信します。
- 三重県の「父子でのお出かけ」や「父子体験」の**おすすめ情報を募集**します。「おすすめの季節」「体験に適した子どもの年齢」などにカテゴリー化して情報発信し、**県内の父親に「父子のお出かけ」の実践を促**します。
- 取組を通じて「男性育児参画」への注目を高め、**育児男子プロジェクトに参画する企業や団体等の拡大**につながります。

これからの移動手段チャレンジ事業

574万円

新たな高齢者向けモビリティ・マネジメント(※1)の取組として、次世代モビリティを活用した移動手段に関するセミナーの開催や試乗会など新たな視点での高齢者向けモビリティ・マネジメント事業を実施します。



期待される効果

新たな視点によるモビリティ・マネジメント事業を実施することにより、公共交通に対する必要性の理解が深まるとともに利用促進を図ります。

取組内容

●高齢者をはじめとする県民の皆さんが、公共交通について慣れ親しんでいただくとともに、さらなる利用促進を図るため、新たな高齢者向けモビリティ・マネジメントの取組として、グリーンスローモビリティ(※2)やMaaS(※3)などの次世代モビリティを活用したセミナーや試乗会などを開催し、アクティブシニアを中心とした高齢者に免許返納後の公共交通を活用した円滑な移動手段について、楽しみながら理解を深めていただくよう取組を実施します。また、事業を実施する中で、参加者等に対するアンケート調査を行い、今後の取組の参考とします。

※1 **モビリティ・マネジメント**：一人一人が日々の生活における移動手段を見つめ直し、用件などに応じて、自家用車と公共交通や自転車、徒歩等を適切に使い分ける考え方。

※2 **グリーンスローモビリティ**：電動で時速20km未満で公道を走ることができる4人乗り以上のモビリティ。

※3 **MaaS**：出発地から目的地まで、利用者にとっての最適経路を提示するとともに、複数の交通手段やその他のサービスを含め、一括して提供するサービス。

「子ども条例ってなあに？」PR動画制作事業

962万円

小学生の子どもが、「三重県子ども条例」が謳う子どもの権利とはどういうものなのか、それを守るためにどうしたらよいかについて考えるきっかけとなるようなPR動画を制作します。

制作した動画は、小学校の授業やホームルーム等で活用するほか、県庁への社会見学やイベント等、様々な機会を捉え広く活用していきます。



期待される効果

子どもが権利の主体としてあるために必要な認識を獲得できるだけでなく、今後の日常生活の中でも自他の権利について自ら気づき、考えるための契機とします。他者への理解を深めることで、他者を認め、思いやりをもって育つことができると期待されます。

取組内容

- 動画は、ドラマ仕立てとし、日常の中でふとした違和感やモヤモヤを抱きながら生活している主人公が家族や周りの大人、友達との関わりを通して、自らの権利について知り、考えながら問題を解決していく内容とします。
- 題材として、昨今の子どもを取り巻く課題を盛り込みます。（「いじめや虐待に該当するか子どもには判断しにくい事例（LINEの仲間外し、いじりと称した過度な暴力・暴言、親からの決めつけ、しつけと称した過度な干渉・体罰）」等）
- 動画の内容は、子どもを支えたり権利を守る取組実績を持つNPOや学識経験者等で作る「動画制作委員会」で様々な視点から検討していきます。子どもが集中して視聴できるよう、ドラマやアニメ制作のプロによる撮影を行います。

みえの宝！子ども見守り活動応援プロジェクト

741万円

近年、通学路等において子どもが殺傷される事案等が全国的に発生しており、県民は著しい不安を感じています。

こうした子どもの被害は、登下校時に集中する傾向にあり、同時間帯における子どもの安全を確保するため、青色回転灯装備車両で子どもの見守り活動等に従事する防犯ボランティア団体に対し、ドライブレコーダー等を貸与します。



青色回転灯装備車両



ドライブレコーダー



- より顕示効果の高いパトロールの実現
- 連れ去り事案等発生時の情報収集
- 活動員の安全運転意識の向上
- 有事における安心感の醸成

期待される効果

防犯ボランティア団体が保有する青色回転灯装備車両にドライブレコーダー及びマグネットを貸与することで、より顕示効果の高いパトロールと連れ去り事案等発生時の情報収集に資するほか、同活動に従事するボランティアの安全運転意識と有事の際の記録映像の確認による安心感を醸成することができます。

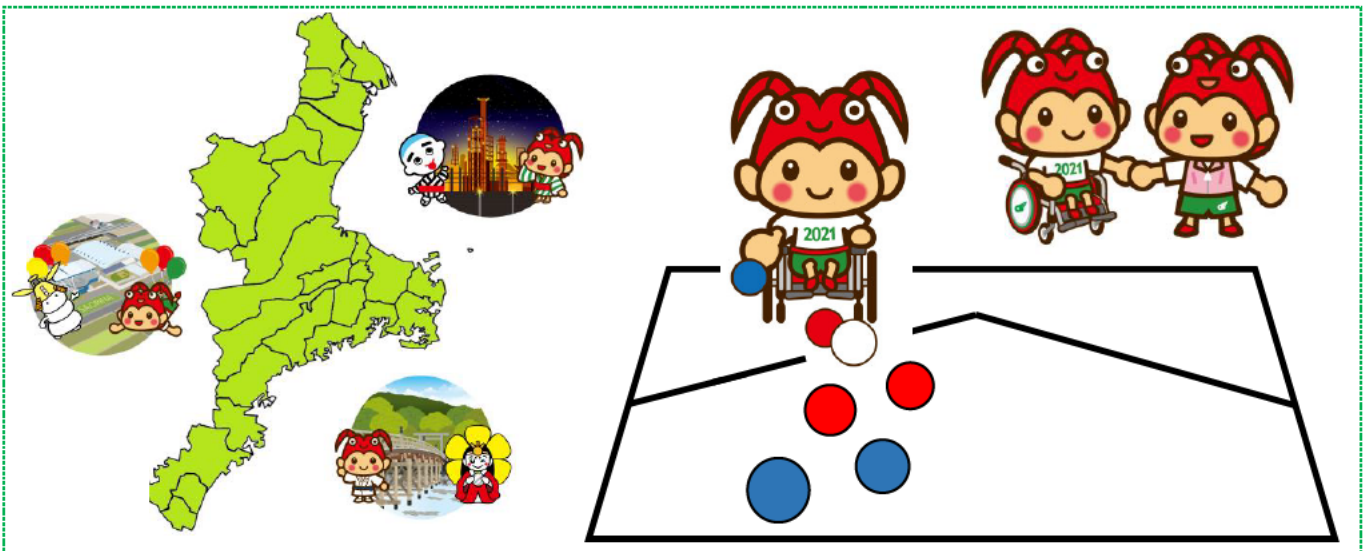
取組内容

県内において、青色回転灯装備車両で子どもの見守り活動等に従事する防犯ボランティア団体（自治体・ドライブレコーダー装着車両は除く）に対し、前後2カメラのドライブレコーダーや「ドライブレコーダー録画中」と書かれたマグネットシート等を貸与します。

～知って、学んで、体験しよう！～ 三重とこわかボッチャムーブメント展開事業

499万円

障がいや障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、三重とこわか大会への関心を高めるため、小中学生、特別支援学校の児童生徒及び障害福祉サービス等指定事業所の利用者を対象としたボッチャの交流大会と普及啓発のための「とこわか出前講座（仮称）」を実施します。



期待される効果

子どもたちが、障がいや障がい者スポーツへの理解を深めるとともに、三重とこわか大会への関心を高めることで、三重とこわか大会のレガシーとして、ボッチャのムーブメントを次世代まで引き継ぐとともに、障がい者スポーツの振興に寄与するものと考えます。

取組内容

●三重とこわか大会の競技会場（四日市市総合体育館、津市産業・スポーツセンター（サオリーナ）、三重県営サンアリーナ（サブアリーナ））において、小中学生、特別支援学校の児童生徒及び障害福祉サービス等指定事業所の利用者を対象としたボッチャの交流大会を実施します。

●また、普及啓発を目的として、希望する学校や事業所に対して、三重とこわか大会やボッチャ競技のルールを知っていただく講座や障がいや障がいのある方への配慮について学んでいただく当事者によるミニ講座（「とこわか出前講座（仮称）」）を実施します。

神話の道～伊勢神宮から熊野古道～ 事業

881万円

伊勢神宮や熊野古道伊勢路の沿線には、さまざまな神話が残されています。これらの神話は、人々の暮らしの中に生き、熊野古道の魅力を深めています。少しずつ忘れられかけているものもあります。

次世代に継承していくべき文化の一つとして、神話をテーマにした熊野古道伊勢路に関する研究成果を取りまとめるとともに、熊野古道のPRや熊野古道の価値を次世代へ継承するためのツールとして活用します。



期待される効果

地域の神話を紹介することで、熊野古道の価値や魅力を高めるとともに、熊野古道をより深く理解することで新たなファン層を開拓し、国内誘客の促進、インバウンドの増加につなげます。また、地域の子ども達が熊野古道に、より誇りと愛着を持つきっかけづくりとします。

取組内容

●MAKE UP THE “神話”

「神話の道」をテーマに熊野古道伊勢路の神話について、これまで蓄積された研究成果を取りまとめ、冊子として発行します。

●リレー講座「伊勢から熊野へ」

東紀州と都市圏において、熊野古道伊勢路の神話をテーマに研究者等による連続講座を開催します。

だ

●出そら！神話コンテスト

熊野古道伊勢路の神話を題材にしたイラスト、写真、動画や漫画などのコンテストを開催し、優秀作品を国内外に向けた広報ツールや次世代継承にかかるツールとして活用します。